

市がココバス路線・運行間隔・料金見直しを着手

2019年11月10日(日)
日本共産党・板倉真也

小金井市は8月26日(月)の市議会建設環境委員会で、コミュニティバス「ココバス」再編に向けた4項目の基本方針案と運行本数など7項目の基準を示した。そこには運行路線の見直しとともに、運行時間・間隔の削減、料金の見直しが明記されている。

現行の運行状況					
系統名	北東部循環	貫井前原循環	東町循環	中町循環	野川・七軒家循環
運行開始日	2013年3月1日	2015年3月20日	2015年3月20日	2015年4月26日	2018年9月7日
運行本数(平日)	42便/日	31便/日	21便/日	21便/日	24便/日
始発時間	午前7時	午前9時	午前9時15分	午前9時	午前8時35分
終発時間	午後8時	午後7時	午後7時15分	午後7時	午後8時5分
運行時間	13時間	10時間	10時間	10時間	11時間30分
運行頻度	3.2便/時間	3.1便/時間	2.1便/時間	2.1便/時間	2.1便/時間
運行間隔	20分(朝は15分)	20分	30分	30分	30分
車両	「ポンチョ」(日野自動車) 36人乗り(運転手含む) 所有台数 計7台				「ハイエース」(トヨタ自動車) 11人乗り(運転手含む) 所有台数 2台
	事業者側が車両を購入。小金井市は運行補助金を交付(車両購入費補助含む)。				
運行委託先	京王バス				つくば観光
運賃	100円(未就学児は無料)※21枚で2,000円の回数券あり、シルバーパス・ＩＣカードは不可				

運行基準(案)

ココバス見直しにあたっての基本的な指標(方向性)	
運行間隔・頻度	1時間2便(30分に1便)
運賃	(今後検討) ※ＩＣカード・シルバーパス利用も検討していく
運行時間	朝9時台～夜7時台
バス停留所間の距離	200m～300m間隔 ※警察や道路管理者(都、市)との協議、道路・土地利用状況、近隣住民の意向等についても考慮する。

■小金井市が見直しを行なう「理由」

「運行開始から約15年が経過し、この間のＪＲ中央本線連続立体交差事業や駅前再開発により、市内の交通状況及び市民ニーズが変化してきていることから」(「小金井市コミュニティバス再編事業における基本方針」)

ようするに…

小金井街道の「開かずの踏切」が解消され、再開発によって駅前広場も確保され、路線バスや自動車の運行がスムーズに行くようになった。しかも、ココバスの利用状況を調べてみると、利用者は特定の地域に集中しており、ココバスのバス停から一定離れている人は路線バスを利用している。ココバスの収支状況もよくないので、見直したい ――― というもの。

■小金井市が想定する「公共交通不便地域」の定義

「現況、ココバスの運行本数は運行本数の少ない中町循環・東町循環において21便/日であり、現在の市内路線バスの日中の運行状況と同程度の水準である。これらの現状に加えて、周辺市町村の事例や今後の人口減少やドライバー不足に伴い、路線バスの持続可能な公共交通としてココバスを運行するため、運行本数の条件を20便/日未満とすべきと考える」

ようするに…

中町循環・東町循環以外のココバスは、市内路線バスよりも本数を多く運行している。また、周辺市町村の事例(東村山市も稲城市も立川市も、コミュニティバスは1時間に1本程度の運行)や今後の人口減少、バス運転手の担い手不足を考えると、路線バスが持続的に運行できるようにしていくことが必要。よって、ココバスは20便/日未満にすべき ――― というもの。

その結果

小金井市が想定する「公共交通不便地域」の定義		
距離の条件		
鉄 道 駅	J R 駅からの距離	500m以上遠い地域（武蔵小金井駅・東小金井駅
	私鉄駅からの距離	300m以上遠い地域（新小金井駅）
路線バス停留所からの距離		300m以上遠い地域
路線バス運行本数の条件		一日20便未満の地域

- ◎貫井南町は大部分が「対象外」となる。
- ◎前原町は南小学校周辺以外の大部分が「対象外」となる。
- ◎「対象地域」となるのは緑町・中町地域と東町の東側地域、貫井南町の南端のみ。

つまり

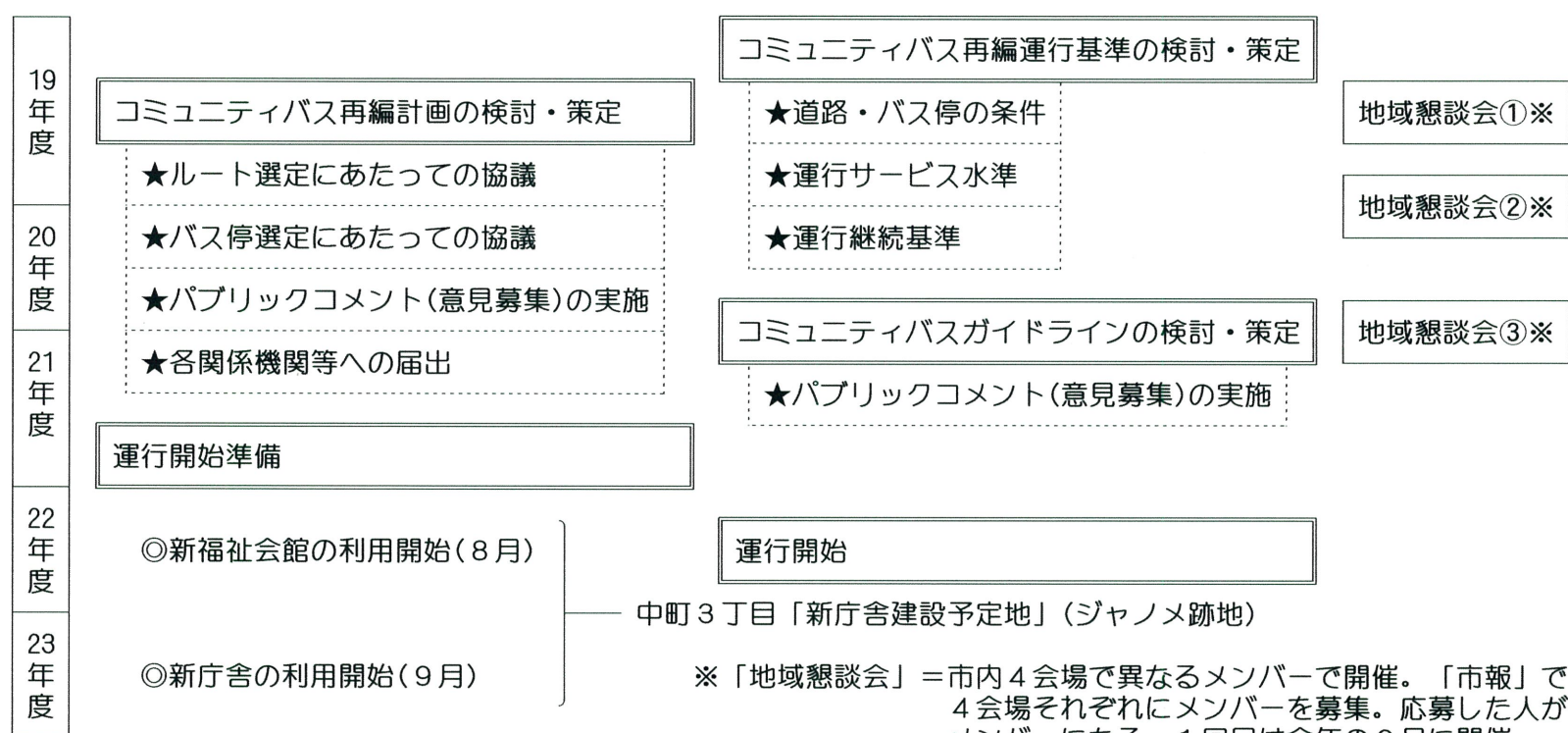
そのうえで

小金井市コミュニティバス再編事業における基本方針
1. 公共交通が不便な地域における「交通弱者(※)」への対応
2. 路線バスを補完するサービスの提供
3. 日常生活に即し運行サービスの提供
4. 持続可能な運行形態・サービスの提供

をもとに「ゼロベースで、一からはじめる」。

※高齢者、妊産婦、子ども連れ、障がい者など、自家用車や自転車の利用が制限され、公共交通が主たる移動手段になると想定する人々。

小金井市コミュニティバス再編事業の今後のスケジュール(予定)



※「地域懇談会」＝市内4会場で異なるメンバーで開催。「市報」で4会場それぞれにメンバーを募集。応募した人がメンバーになる。1回目は今年の9月に開催。来年3月の2回目の懇談会にルート(案)提示予定。

参考 「ココバスの年度別利用人数」

系統名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	収支(2018年度)
北東部循環	52万6,075人	49万6,759人	49万3,073人	50万2,293人	51万6,571人	222万6,093円
貫井前原循環	23万4,520人	23万5,440人	22万7,112人	21万9,930人	22万 400人	▲1,503万9,404円
東町循環	9万3,542人	9万3,092人	9万3,977人	9万9,015人	※10万4,495人	▲1,094万7,712円
中町循環	13万8,114人	13万7,311人	13万2,336人	12万9,755人	※15万3,183人	▲ 545万4,986円
野川・七軒家循環	9万1,027人	9万 46人	8万9,817人	9万2,767人	9万2,215人	▲ 994万8,767円

※武蔵小金井駅～武蔵境駅の京王バス路線廃止が影響